【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年5月10日(2023.5.10)

【公開番号】特開2023-165(P2023-165A)
【公開日】令和5年1月4日(2023.1.4)
【年通号数】公開公報(特許)2023-001
【出願番号】特願2021-100825(P2021-100825)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　3/10(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　3/74(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　3/18(2006.01)
Ｈ０１Ｌ 21/683(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　3/10　　Ａ
Ｈ０５Ｂ　3/74
Ｈ０５Ｂ　3/18
Ｈ０１Ｌ 21/68　　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月27日(2023.4.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記課題を解決するためになされた本開示の他の形態は、セラミックス基板と、前記セラミックス基板に埋設され、線状の発熱ラインが略同心円状に形成される発熱体を有する板状のセラミックスヒータにおいて、前記セラミックスヒータの厚み方向から見たときに、前記発熱体は、前記発熱体の径方向にて隣り合う２つの前記発熱ラインから構成される一対の発熱ラインとして、前記発熱体の周方向にて所定の分離領域を挟んで離れて配置される第１発熱ライン対および第２発熱ライン対と、前記第１発熱ライン対を構成する２つの前記発熱ラインの前記分離領域側の端部同士を接続する第１折り返し部と、前記第２発熱ライン対を構成する２つの前記発熱ラインの前記分離領域側の端部同士を接続する第２折り返し部と、を備え、前記第１折り返し部と前記第２折り返し部とからなる一対の折り返し部にて、前記一対の折り返し部の前記発熱体の径方向の外周側の端部における前記第１折り返し部と前記第２折り返し部との間隔は、前記一対の折り返し部の前記発熱体の径方向の内周側の端部における前記第１折り返し部と前記第２折り返し部との間隔より狭く、前記外周側の端部の位置の近傍で、前記第１折り返し部と前記第２折り返し部が前記分離領域側に向って形成されることにより、前記第１折り返し部と前記第２折り返し部との間隔が狭まっていること、を特徴とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
セラミックス基板と、
前記セラミックス基板に埋設され、線状の発熱ラインが略同心円状に形成される発熱体

を有する板状のセラミックスヒータにおいて、
前記セラミックスヒータの厚み方向から見たときに、
前記発熱体は、
前記発熱体の径方向にて隣り合う２つの前記発熱ラインから構成される一対の発熱ラインとして、前記発熱体の周方向にて所定の分離領域を挟んで離れて配置される第１発熱ライン対および第２発熱ライン対と、
前記第１発熱ライン対を構成する２つの前記発熱ラインの前記分離領域側の端部同士を接続する第１折り返し部と、
前記第２発熱ライン対を構成する２つの前記発熱ラインの前記分離領域側の端部同士を接続する第２折り返し部と、
を備え、
前記第１折り返し部と前記第２折り返し部とからなる一対の折り返し部にて、
前記一対の折り返し部の前記発熱体の径方向の外周側の端部における前記第１折り返し部と前記第２折り返し部との間隔は、前記一対の折り返し部の前記発熱体の径方向の内周側の端部における前記第１折り返し部と前記第２折り返し部との間隔より狭く、
前記外周側の端部の位置の近傍で、前記第１折り返し部と前記第２折り返し部が前記分離領域側に向って形成されることにより、前記第１折り返し部と前記第２折り返し部との間隔が狭まっていること、
を特徴とするセラミックスヒータ。